

「はじめて学ぶ建物と火災 正誤表」(2007年11月25日 初版1刷発行)

ページ・行	誤	正
4・↓15	受動的	能動的
8・↑7	線と	セント
13・↑4	危険要因(ハザード)	危険
29・↓7	1.65km	1.64km
29・↑4	屋外消火栓・火災報知機な	屋外消火栓な
29・表2.1 目黒行人坂大火	中の橋	中之橋
29・表2.1 丙寅の大火	京橋－日本橋－神田－浅草	京橋－日本橋－麴町，神田－下谷－浅草
33・↑1	3.8×10^{-4} 件/戸・年	3.9×10^{-4} 件/(戸・年)
34・↑2	約 4×10^{-3}	約 4×10^{-3} 件/(戸・年)
38・↑5	1,040人台	1,038人
39・表2.6	一般住宅 120,402	一般住宅 12,402
61・↓10, 11	の温度 $a \cdots W_a \cdots v_0$	の温度 $\theta_0 \cdots w_0 \cdots w_0$
81・↓19	熱感知器	煙感知器
84・↓7	(CO)	(COなど)
89・左段↑7	地下3000㎡以上や街や地下4階以上の場合	延べ面積が1000㎡以上の地下街などに
103・↓6ほか	見透かし距離(7カ所)	見透し距離
115・表5.14	$\cdots dt < 1.0 < 10^4$	$\cdots dt < 1.0 \times 10^4$
130・図6.18	ツキプレート	デッキプレート
132・↑5	裏面温度が可燃物燃焼温度(平均160℃，最高200℃)	裏面温度の上昇が，平均140K以下，かつ最高180K
133・式(6.3)	右を追加する	t:時間(sec)
134・図6.24	石川進氏	石井進氏
148・↓5	大きく影響する	大きく依存する
149・図7.13	通り壁付き柱	壁付き柱
〃	通り独立柱	独立柱
154・↑3	低下する	回復しない
164・↑5	を受ける間	を受け，試験体構成材料の種類等によって定められた計測時間の間
167・↓9	可燃物量	収納可燃物発熱量